

剣道男子団体19年ぶり優勝!

あっぱれ! 個人でも大活躍

☆柔道男子55kg級	優勝	熊川俊汰
☆剣道女子個人	優勝	境脇美波
男子個人	3位	小幡一路
☆ソフトテニス個人	2位	入江柚月・原田唯香



五島市中総体

さつきやま魂

崎山中学校だより
6月29日 第6号
文責 校長 山下



応援ありがとうございました

6月14・15日の両日、五島市中総体が開催されました。どの部活動の子どもたちも、さつきやま魂の誇りを胸に、最後まで全力で競技に臨みました。剣道団体は、先鋒の大里主将の勝利で波に乗り見事優勝。何と19年ぶりの快挙となりました。個人戦でも、女子で1年生ながら境脇さんが優勝。男子の小幡君も3位入賞を果たしました。柔道男子個人では、階級をあげて臨んだ熊川君が見事優勝しました。ソフトテニスでは、団体戦は優勝した翁頭中に惜しくも1対2で敗れましたが、個人戦では、入江・原田ペアが準優勝。決勝戦は記憶に残る名勝負でした。バスケットボールでは、勝利することはできませんでしたが、平道主将を中心に、最後まで粘り強くあきらめない魂を見せてくれました。



生徒総会から

6月19日、生徒総会が行われました。臨時休業の影響で、準備期間も少なかったのですが、生徒会役員の皆さんが、率先して動き、準備を進めてくれたおかげで、有意義な総会となりました。特に、初めて参加した1年生からは、率直な意見が多く聞かれました。2年生は、学習面の質問もあり、学力に対する意識の高さが伺えました。3年生は、1年生の意見に対して、自分の経験から誰もが納得できる意見を述べました。



生徒総会の中で、執行部提案の活動方針が可決されました。今年度、学校生活をよりよくするために一生懸命、執行部の皆さんが考え提案した内容です。意識して実践してほしいと思います。

- 1 「何でも挑戦 レッツドウイツ」
 - 2 主体的に行動する
- 授業に集中し、自主学習をとおして、学力向上を目指す

生きていくだけで奇跡

一組の両親から、どれだけの種類の子ともができるのか、これを計算すると、その可能性は、約70兆だそうです。これは、遺伝子の違いから生じます。人の細胞の中には、46個の染色体があります。両親からそれぞれ23個ずつ受け取り、結合し、46個になるのです。これは、染色体に含まれる遺伝子情報も父母から半分ずつ均等に受け継いでいることを意味します。この遺伝子の組み合わせが約70兆あるので、同じ両親から同じ遺伝子をもつ子どもが生まれる可能性はほぼゼロだと言えるのです。つまり、あなたたち一人ひとりとは、約70兆の中から選ばれて生まれてきた、かけがえない命なのです。生物が誕生したのが約38億年前と言われていますが、遠い過去から今、そして未来へと命は引き継がれていきます。本当に神秘的ですね。「生きていくだけでも奇跡」と言われる意味がわかります。これからも自分やまわりの人たちの「奇跡の命」を大切にしていきたいましよう。